

- 問1 日本の関東地方、現在の埼玉県に位置する前方後円墳からは、115文字の銘文が刻まれた金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）が出土しています。この鉄剣に記された「ワカタケル大王」という名は、当時のヤマト政権の首長を指すとされています。この鉄剣が出土した古墳の名称として正しいものを選んでください。（2016年 三重県公立入試 類似）
1. 稲荷山古墳                      2. 江田船山古墳                      3. 大仙陵古墳                      4. 箸墓古墳
- 
- 問2 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
1. 鉄                      2. 青銅                      3. 銅                      4. 金
- 
- 問3 大和政権（ヤマト王権）において、朝鮮半島から移り住んだ人々の知識や能力が、政権の運営にどのように活かされたか。当時の記録や実務に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. 文字の読み書きや計算の能力を活かし、公文書の作成や財政管理といった行政実務を担った。                      2. 将軍から土地の支配権を認められる代わりに、軍役や番役を果たす主従関係の基盤となった。                      3. 九州北部の沿岸部で、唐や新羅などの外国勢力の侵攻を監視・防御する軍事的な役割に特化した。                      4. 独自の文字を開発することで、それまで口伝のみであった日本の神話を初めて文字で記録した。
- 
- 問4 3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）
1. 前方後円墳                      2. 方墳                      3. 円墳                      4. 積石塚
- 
- 問5 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。                      2. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。                      3. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。                      4. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。
- 
- 問6 日本最大の前方後円墳である大仙古墳など、古墳時代の遺跡や出土品に関する説明として誤っているものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 古墳の周囲や墳丘には、素焼きの土器である埴輪が並べられた。                      2. 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。                      3. 豪族の権威を示すための副葬品として、銅鏡や鉄剣などが納められた。                      4. 大仙古墳のように円形と方形を組み合わせた形状の古墳が造られた。
- 
- 問7 埼玉県にある稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた金錯銘鉄剣が出土した一方で、熊本県にある江田船山古墳からも同様に大王の名が記された鉄刀が見つかっています。これらの発見から推測される、5世紀後半における大和政権の状況として最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
1. 朝鮮半島から伝わった鉄器の製造技術が、関東地方でのみ独占されていた。                      2. 大和政権の本拠地が、近畿地方から関東地方へ移転した。                      3. 九州地方と関東地方の豪族が連合して、大和政権に対抗していた。                      4. 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。
- 
- 問8 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭（日本）の王が南朝へ使いを送った「倭の五王」の記録があります。このうち、国内の稲荷山古墳（埼玉県）から出土した鉄剣の銘文に記された「ワカタケル大王」と同一人物であると考えられている王の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 愛媛県公立入試 類似）
1. 倭王 武                      2. 倭王 讃                      3. 倭王 済                      4. 倭王 珍
- 
- 問9 5世紀後半の日本列島において、大和政権の支配力が関東地方から九州地方にまで広く及んでいたことを示す歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 長崎県公立入試 類似）
1. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏から贈られた親魏倭王の称号を、地方の有力豪族に分け与えて統治した。                      2. 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。                      3. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、地方の豪族に対して大王への忠誠を誓わせる制度が全国に普及した。                      4. 白村江の戦いでの敗北を機に、関東から九州にかけて山城や防人が配置され、軍事的な中央集権化が進んだ。
- 
- 問10 2019年に「百舌鳥・古市古墳群」の一部として世界文化遺産に登録された大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）について、その形状と発見された遺物の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 形状：前方後円墳、遺物：大陸から伝わった陶磁器の破片                      2. 形状：円墳、遺物：青銅で作られた大型の銅鐸                      3. 形状：方墳、遺物：死者の身分を示すための仏像                      4. 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪
- 
- 問11 中国の歴史書『宋書』倭国伝には、5世紀に中国の南朝へ相次いで使者を送り、自身の地位を認める称号を求めた「讃・珍・済・興・武」という5人の王が登場します。これらの王を総称して何と呼びますか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
1. ヤマトの大王                      2. 倭の五王                      3. 渡来人                      4. 遣隋使
- 
- 問12 古墳時代における渡来人の移動と技術伝来が、当時の日本列島の社会に与えた影響について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
1. 全国に国分寺や国分尼寺が建てられ、仏教を中心とした国家体制が完成した。                      2. 青銅器と鉄器が同時に伝わり、金属器を使った道具の製造が初めて行われた。                      3. 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。                      4. 大陸からの技術移転により、日本列島で初めて米作り（水稲耕作）が始まった。
- 
- 問13 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らがもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。                      2. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、卑弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。                      3. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。                      4. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。